

《Lesson 3》 否定の命令文

否定の命令文とは「これを食べないで」「悪い生徒ではないで」と言いたい時などに使います。否定の疑問文の作り方は非常に簡単。なぜなら、

「一般動詞の文」「be 動詞の文」関係なしに
肯定の命令文の前に **don't**（あるいは **do not**）を足せば完成

だからです（基本的に do not よりも、don't が使われます）。

【否定の命令文：基本の形】

Don't (Do not) + 一般動詞の原形 + ~.

Don't (Do not) + be + ~..

(~しなさい / ~でいなさい)

<例> **Don't (Do not) eat this.** (これを食べないで)
Don't (Do not) be a bad student. (悪い生徒ではないで)

【作り方】

ステップ①： **肯定**の命令文を作る。

ステップ②： 文の先頭に **Don't / Do not** を足す。

<例 1> 「これを食べないで」という文の場合。

ステップ①： **肯定**の命令文を作る。 「これを食べて」

Eat this.

ステップ②： 文の先頭に **Don't / Do not** を足す。

Don't (Do not) eat this.

<例 2> 「悪い生徒ではないで」という文の場合。

ステップ①： **肯定**の命令文を作る。 「悪い生徒でいて」

Be a bad student.

ステップ②： 文の先頭に **Don't / Do not** を足す。

Don't (Do not) be a bad student.

ポイント！ and などの接続詞を使って命令文を2つ繋げることも可能

and や but などの接続詞を使うと、命令文を2つ繋げることも可能です。

- (1) Be a good student and study hard.
- (2) Write your name here, but don't write your phone number.

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。